

# 令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立義務教育学校八東学園後期課程

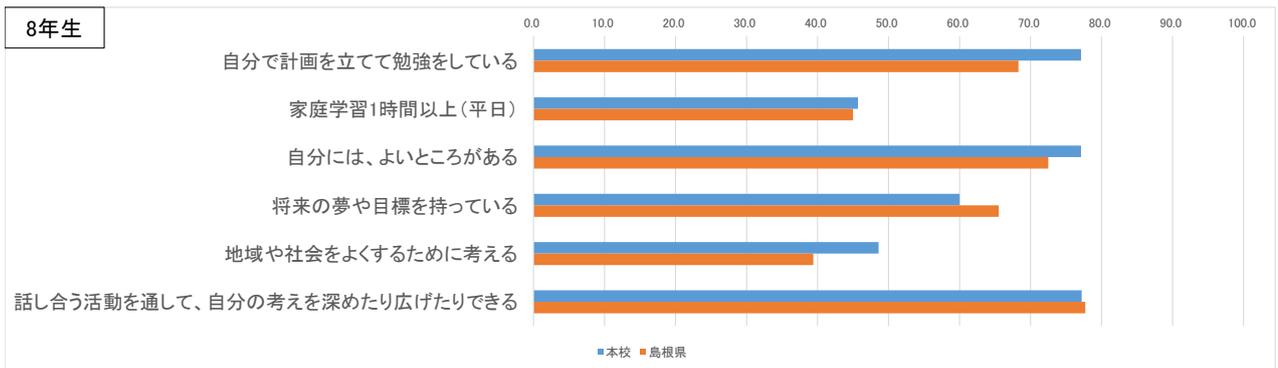
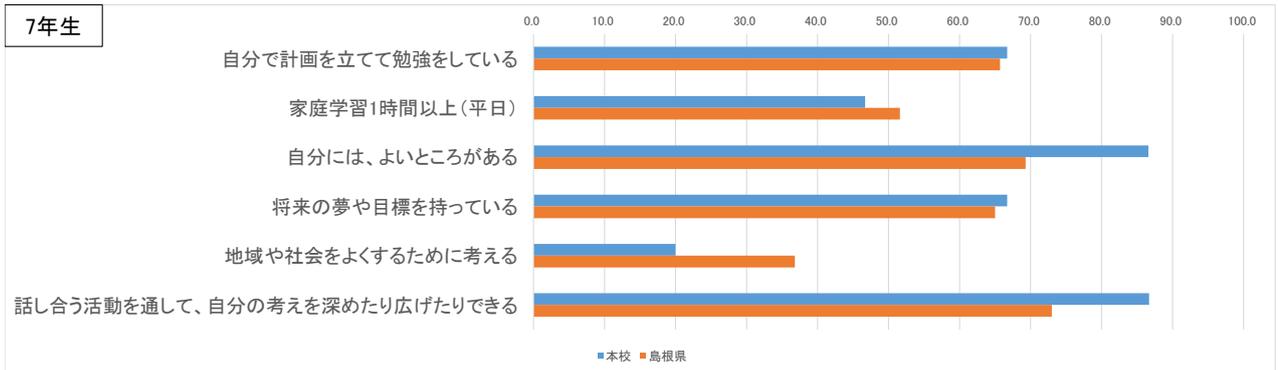
## 【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	7年生	8年生
国語	○「話すこと・聞くこと」「主体的に学習に取り組む態度」は、県平均正答率を上回っている。自分の考えを伝える力の定着が見られる。 ●「我が国の言語文化に関する事項」と「読むこと」に課題がみられる。特に後者は県平均を大幅に下回っており、無回答率も高い。	○3観点すべてにおいて県平均正答率を上回っている。領域で見てもほぼ同様で、特に「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」において県平均を大きく上回っており、学力が定着してきている。 ●「我が国の言語文化に関する事項」においては県の平均正答率を若干下回っている。「書くこと」においては無回答率が他の設問より高い傾向にある。
数学	○領域、観点別などすべての項目で県平均正答率を上回っている。特に、図形や関数に関する数値が高く、学力の定着がみられる。 ●グラフの読み取りや文字式の意味の理解など、基礎学力を生かして解く応用問題の正答率が低い。 ●記述式の問題の正答率が低い。	○領域、観点別などすべての項目で県平均正答率を上回っている。特に、知識・技能に関する基礎的問題の正答率が高く、学力が定着していると思われる。 ●文章をグラフに表したり、根拠を明らかにして説明したりする問題に対して課題がみられる。
英語	○領域別、観点別正答率に関してはすべての項目で県平均正答率を上回っている。特に、英文や長文の読み取りに関する数値が高く、語彙力や文法事項の定着がみられる。 ●対話を聞き、概要を捉え、応答する問題の正答率が低い。 ●記述式の問題は無回答が多い。	○英文を聞いて答える問題や語彙、語法を問う問題は概ね県平均正答率と同じか、またはやや上回る正答率である。基礎、基本の定着がみられる。 ●文の語順を理解し、書く問題の正答率が低い。

## 【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	7年生	8年生
意識	○「自分にはよいところがある」「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできる」と回答した生徒が県平均と比べて15%程度上回っている。学級の中でお互いを認め合っていることや、様々な教科で話し合い活動を通して活発にグループ活動ができていくことが考えられる。 ●「地域や社会をよりよくするために考える」と回答している生徒が、県平均と比べて15%下回っている。	○お互いの良さを認め合い、自己を高めようとする姿勢が高まっている。総合的な学習の時間に、「八東町調べ」や修学旅行と地域のPRをからめたことで、地域の思いやる気持ちが高まっている。 ●将来の夢や目標を持っていると答えた人が6割にとどまっている。

## 【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】 7年生 15 名 8年生 35 名 (欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)